

労使研

労使関係研究協会
〒105-0014
東京都港区芝2-20-12
友愛会館9階
TEL:03-3453-5386
FAX:03-3451-1710

関西支局
〒550-0001
大阪市西区土佐堀1-6-3
JAM西日本会館内
TEL:06-6225-2881

「情報」第61号 2022年1月

賀正

本年もよろしくお願ひ申しあげます



2022年 新年のご挨拶

一般財団法人日本労働会館
代表理事 宮本礼一



明けましておめでとうございます。

2022年の年頭に当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

一昨年（2020年）の年明けから続く新型コロナウイルス感染が終息しない中、新しい年を迎えることになりました。昨年（2021年）師走には新たな変異株も広がりを見せるなど、今年も新型コロナウイルス対策に追われる一年になるのではないかとと思いますが、皆さまには健やかな日々を過ごされ、コロナ禍を乗り越えていただきたいと願っています。

暮らしを支える経済の動向も先行きの見えない日々ですが、このような環境下だからこそ労使が共にベクトルを合わせ、企業活動や働き方などについての正しい情報を共有しつつ、将来に向けて雇用をはじめとする企業や社会のありようを主体的に考え、積極的に行動されることをお願いする所です。

それぞれの組織・団体におかれましては、適切な新型コロナウイルス対策を講じていかなければ、労働組合活動や企業活動の縮小や休止を余儀なくされる状況になりかねず、これまでの組合活動や企業活動をおこないながらも感染拡大を防ぐために、新型コロナウイルスとの共存を前提とした新しい生活様式や働き方の定着が重要となります。

労使関係研究協会でも、新型コロナウイルス禍における感染拡大防止を最優先に考え、一昨年（2020年）の春より殆どの活動を休止せざるを得ない状況になっており、今後も当分の間は活動休止状態を続ける予定としており、関係各位のご理解とご協力を改めてお願いしたいと思います。

わが国では、非正規労働者やギグワーカーなどの増加により、職場で働く労働者の多様化が進んでいます。このような環境下において労働組合が職場の全ての労働者の働き方や暮らしに関与していくための集团的労使関係システムを構築していくことが求められています。

労使関係研究協会では、諸先輩方を講師に招いて開催してきたこれまでの労働講座のあり方について検討する時期を迎えており、会員団体・個人のニーズを把握するなどして、雇用形態や社会構造などの環境に応じた集团的労使関係の発展に寄与する活動に取り組まなければならないと考えています。

労使関係研究協会の活動を公益事業として運営する一般財団法人日本労働会館は、昨年8月に財団法人設立90周年を迎えることができました。これも偏に労使関係研究協会の会員団体や諸先輩方による中心的なご努力の賜であると深く敬意を表すものです。

新型コロナウイルス拡大によって世界全体に停滞感が漂っていますが、明るい一年にしていくために、額に汗して働く皆さんと共に頑張っていくことをお誓いして、2022年の年頭のご挨拶とします。

はじめに

友愛会系労働運動の歴史資料館として2012年8月に新装オープンした友愛労働歴史館は、「先達者のメッセージを読み解き、再発信する」ことをスローガンに①展示会・講演会の活動、②資料の収集・管理、調査・研究の活動、③情報発信・PRの活動などに取り組んできました。

しかし、2021年は新型コロナウイルスにより大きな制約を受け、2020年12月26日から2021年1月11日まで休館を余儀なくされました。その後も2月7日までの休館延長があり、ようやく同8日に再開することができました。

特別企画展として2020年12月から開催中だった富士社会教育センター企画展「労働運動と教育運動」は、2月8日の再開後、同28日まで開催。その後、3月8日から友愛労働歴史館企画展「鬘（たてがみ）を持つ男・西尾末廣—労働運動・政治運動に生きた生涯—」（2021. 3. 8～7. 5）をスタートしました。この間、ユニテリアン教会・惟一館ゆかりの福澤諭吉生誕120年を記念し、特別展示「福澤諭吉とユニテリアン教会」（2021. 2. 1～2. 28）も開催しています。

企画展「西尾末廣」が終了した7月6日以降、当歴史館は臨時休館し、リニューアル工事に入って書庫と展示室の縮小・移転を行い、書庫横には資料閲覧室兼ミニ会議室を設けました。9月14日にリニューアルオープンした後は、常設展「日本労働運動の100年余」による展示会活動、各種資料の閲覧、問い合わせなどに対応してきました。

常設展「日本労働運動の100年余」の開催

友愛労働歴史館は2012年のオープン時、開館記念特別展「友愛会から連合へ—日本労働運動の100年—」を開催。その後、年2回の企画展と常設展「日本労働運動の100年余—友愛会・総同盟（戦前）を中心とする—」を開催してきました。

いままでに企画展は、①「鈴木文治・友愛会と吉野作造」（2013年）、②「UAゼンセン中央教育センター 友愛記念館に観る民主的労働運動の歴史」（2013年）、③「コンドルと惟一館、山口文象と青雲荘」（2014年）、④「同盟結成から50年、その今日的意義を探る」（2014年）を開催しました。

続いて「日本野球の父、日本社会主義運動の父 安部磯雄」（2015年）、「赤松常子—婦人運動・社会運動に生きた生涯—」（2015年）、「全文協結成から60年、その今日的意義を探る」（2015～2016年）、そして「総同盟結成から70年—いま労働組合主義について考える—」（2016年）をそれぞれ開きました。

2017年には「内ヶ崎作三郎—教育者・牧師・政治家の生涯—」を皮切りに、企画展「賀川豊彦と友愛会・総同盟」を開催。翌2018年には企画展「戦後民主化のリーダー 片山哲」と同「松岡駒吉—ひとすじに労働者の利益を守った男—」（2018年）、そして同「民社党結党60年—勤労国民政党的旗を掲げて—」（2018年）を開催しました。

その後も企画展「協調会結成100年—洪沢栄一と鈴木文治・友愛会—」（2019年）、同「日本のメーデー100年—自由と団結の旗のもと—」（2020年）、同「総同盟・産別会議から新産別・総評へ—1946～1950年の労働運動—」（2020～2021年）、同「労働運動と教育運動—富士社会教育センター企画展」（2020年）を開催し、2021年を迎えました。

一方、常設展「日本労働運動の100年余—友愛会・総同盟を中心とする—」（2013. 03. 18～）は、オープン以来の同一テーマ（友愛会から連合までの民主的労働運動の100年余を顕彰する）で開催し、適宜、展示・解説内容の手直しを行ってきました。現在、友愛労働歴史館は常設展「日本労働運動の100年余」を中心とする展示会活動に取り組んでいます。



2018



2018



2019



2020



2020



2021

資料の収集管理、調査・研究活動、情報発信・PR活動について

友愛労働歴史館は年間を通し、資料の収集・管理に取り組んでいます。また、必要な調査・研究活動に取り組んでいます。対象は①友愛会から総同盟・同盟までの民主的労働運動、②社会民衆党から社会党・民社党までの民主的社會主義運動、③福澤諭吉や安部磯雄らユニテリアン教会・惟一館（現友愛会館）ゆかりの社会運動、に関するものです。

常設委員会として「ユニテリアンと社会運動研究会」「政治・社会運動史研究会」があり、特別委員会として井堀繁雄研究会があります。井堀研は井堀繁雄（労働運動家・協同組合活動家・政治家・日本労働会館理事長・全金同盟組合長）に関する調査・研究を行う研究会で、彼が残した手帳・日誌のデジタル化作業や評伝『井堀繁雄—労働運動・協同組合運動に生きた男—』（仮題）の制作に取り組んでいます。

友愛労働歴史館はインターネットを活用した情報発信・PR活動にも取り組んでおり、①メールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信、②ホームページHPでの情報提供・PR活動、③ツイッターによる情報発信・PR活動、を行っています。なお、友愛労働歴史館HPとEメール、ツイッターのQRコードを掲載いたします。



おわりに

友愛労働歴史館の2021年は展示室の縮小移転や研修室廃止などがあり、なかなか大変でした。しかし、多くの皆さんに支えられ、「友愛会系労働運動の歴史資料館として、先達者のメッセージを読み解き、再発信する対する認識を広めるために寄与したものと、密かに勝手に自負しています。」活動に取り組むことができました。

なお、私は2012年の新装オープン以来、長く友愛労働歴史館事務局長を務め、友愛会ゆかりの人として安部磯雄や村井知至、内ヶ崎作三郎らを取り上げて情報発信を行いました。これは当歴史館が単なる労働運動史料館に留まらない、幅の広い社会運動史料館としての活動分野を切り開いたものと考えています。また、福澤諭吉や渋沢栄一を取り上げて紹介したことは、友愛会系労働運動に

2022年は友愛労働歴史館オープンから10年、ユニテリアン教会・惟一館からは128年、友愛会創立からは110年となります。友愛労働歴史館の新たなスタートを切る時期と言えましょう。昨年10月に藤吉大輔氏（UAゼンセン）が新たな事務局長として着任され、私は歴史館副館長として本年2月までお手伝いをする事になりました。この機会に皆様の友愛労働歴史館に対するご厚誼、ご鞭撻に感謝を申し上げます。長い間ありがとうございました。



友愛会創立を記念するつどい

私たち「友愛会創立を記念する会」は、わが国近代的労働運動の源流である「友愛会（鈴木文治初代会長）」創立（大正元年8月1日）を記念し、毎年8月1日に標記記念する会を開催してきました。

しかし昨年はコロナ禍の影響で記念パーティーを中止、日本労働会館関係者による小規模な「集い」の開催にとどまりました。今年は友愛会創立109周年にあたりますが、新型コロナウイルスの脅威が収まらないなか規模を縮小し、役員・幹事中心の代表開催といたしました。

2021年8月1日（日）

友愛会創立を記念する集い

次第 司会 大喜多友愛会創立を記念する会事務局長
挨拶 宮本友愛会創立を記念する会副会長
物故者黙とう
会長メッセージ 読み上げ
来賓あいさつ 連合・逢見会長代行
来賓メッセージ 民社協会、政策研究フォーラム
昼食
解散

参加者 12人

（友愛会創立を記念する会）

宮本副会長（一般財団法人日本労働会館理事長）

大喜多事務局長（日産労連事務局長）

河野幹事（電力総連事務局長）

古川幹事（UAゼンセン書記長）

（事務局）

友愛会創立を記念する会・滑川事務局担当（労使関係研究協会）

友愛労働歴史館・徳田館長、間宮事務局長、安部

日本労働会館・菊池総務部長、本多

（来賓）

逢見連合会長代行

JAM・中井書記長

写真責任者 安部

食事等手配 本多

会場準備等 滑川ほか事務局全員

映像担当 稲川（映像教育研究会）



物故者について（敬称略）

2020年9月から友愛会創立を記念する会事務局で報告を受けた方々です。

伊藤 郁男 元参議院議員 民社協会

堀江 湛 元政研フォーラム 理事長

今泉 昭 元参院議員 友愛会議議長、JAM会長代行

福岡 道生 元労使研顧問

榎本 純 元同盟生活福祉局 連合社会政策局長

友愛会創立を記念する日へのメッセージ（敬称略）

友愛会創立を記念する会

会長 高木 剛

友愛会創立から109年目の8月1日を迎えました。

今夏もコロナ禍で“記念日”の式典等は中止せざるを得ませんでした。記念日の意味をかみしめ、来年へその志を引き継ぐことに致しました。

日本の労働運動の今日ある基盤を築いた友愛会、その理念と運動論は、時移り、人変わろうと連綿と引き継がれ、ポストコロナの労働運動にも礎石的な意義を失うことはありません。

記念する会関係者の皆様のご苦勞を多とし、8月1日への想いのメッセージといたします。

来賓あいさつ

日本労働組合連合会

逢見直人会長代行

友愛会創立以来今年で109周年、会員としても大変お慶び申し上げます。

先程物故者の中におられました榎本純さんですが、その曾お祖父さん榎本利平さんは1919年に開かれた第1回のILO総会における日本の労働者代表として派遣されました。その時の友愛会との関係をめぐるエピソードもありますが、そのお孫さんが同盟、連合で活躍された、なかなか面白い縁だなあとということで紹介させていただきました。

コロナ禍の緊急事態宣言下で連合も8割がテレワーク、2割が出勤。特に五輪パラリンピック期間中在宅続き。賀川豊彦の「自由組合論」を、古本屋で買ってきて読んでみました。

総同盟の第一次分裂になる第8回総同盟大会の激しい論争が書かれています。賀川豊彦さんは穏健な労働組合の出身で、議会制民主主義を大事にする。それに反対する勢力はサンディカリズムという直接民主主義、議会を通さず自分たちが政権を獲って、要求を通そうとする考え方。

賀川さんは議会の重要性を訴え、普選運動の必要を主張します。しかし左派勢力、サンディカリズムの人たちの声は大きく、演説会をやると賀川さんは野次を受け罵倒される。そんなことがずっと書かれているわけですが、改めて勉強になりました。

私が連合事務局長になったのが2015年、2年間やってそのまま会長代行でトータル6年になるわけですけど、今年の大会をもって退任するつもりでいます。

連合の17期の運動方針を今作っています。連合も30周年で持続可能な連合運動をめざし、将来にきちんと渡せるような連合の体制を作っていきたい。

組織面で言いますと組織拡大のために連合自らがオルガナイザーをブロックに配置し、あわせて各地方連合にもアドバイザーを置いて主に労働相談に乗る。

財政面では現在は連合本部会費に地方会費と二元的に集めていて、地方連合会費が75円から150円と倍の幅がある。今後労働力人口が減り、過疎化も進むと、今の形ではとても維持していけなくなる。そのため会費を一元化して交付金という形で地方に配布するということを提案しています。2019年から25年まで6年かけて周知して、その後一元化していくという日程で、今後組織討議に入ってまいります。

もう一つ、地方連合直加盟の問題があります。直加盟組合は構成組織に移管できるものは移管します。それでも残るところが出たら地域ゼネラルユニオンというものを作り、そこを受け皿に。課題を整理しながら次の世代に連合運動を渡していきたいと思えます。

政治の問題も出ておまして、立憲民主党と国民民主党や共産党の連携でいろいろ出ています。国民と立民の衆議院の政策協定の中に、左右の全体主義を排するというを入れて協定を結びました。（政治的に見るならば）日本共産党のこれまでの変化、規約の見直しとかをどう見るのか、少し検証する必要があるのではないかと思います。

ただ労働運動としては、階級的労働運動と相いれないということははっきりしています。現実的に全労連と対立関係にあり、共産主義勢力とは相いれない。野党連立政権を作るときに共産党を入れた政権構想というものは考えることはできません。

連合の中で本気で議論しだすと、あらゆる力を自公政権打倒に向けて結集しなければいけない。だから共産党もその時には排除するものではないんじゃないかという考え方を持つ人たちもいます。

他方、是々非々で現実的に今の政権が出した議案だって野党が賛成するものもかなりあるし、与野党が対立する議案もあるが全会一致で成立するものもある。自公政権を倒すことが唯一の目的という考え方をとるべきではないのではないかという人たちもいます。

本気で議論しだすとこれは大変なこと。衆院選も間近に迫る中で、どうしても一致できなければ構成組織に委ねることがあってもと私は思います。政策協定を前提として推薦は決めますが、地方連合との連携の中でやっていくことも課題かなと思います。

役選の問題も混とんとしているようでして、9月9日の中執までには結論が煮詰まっていくか、と。連合の近況ということであいさつに代えさせていただきます。

お祝いメッセージ

民社協会会長 小林正夫

「友愛会創立を記念する会」の開催をお慶び申し上げます。

コロナ禍により制約多く、厳しい状況の中、関係者の熱意と努力によって、小規模ながら例年の集いが開かれますことに敬意を表します。

友愛会の創立から109周年、多くの先達が、幾多の困難を乗り越えて築かれてきた自由にして民主的な労働運動の歩みのうえに、今わたしたちが、誇りをもって運動を続けられていることを強く思います。

この歩みを未来につなぎ、我が国の将来を確かなものとしていくことは、今日に生きるわたしたちに課された大きな使命であります。

私たち民社協会は、民社党の理念を継承し、皆さまと同じく「友愛の精神」をもとに、自由にして民主的、平和で豊かな社会の建設に取り組んでいるところであります。

今後とも、輝かしい伝統を胸に刻み、ともに歩みが続けて行きたいものと思います。

皆さまのご健勝、ご発展を心より祈念申し上げます。

政策研究フォーラム理事長 谷藤悦史

「働くこと（労働）が、人間一人一人の生の可能性と発展を最大化するのみならず、人間からなる社会の発展にも大きな貢献をなすことを説き普及させたのは、「友愛会」とその運動にほかなりません。

コロナ感染症の危機に見舞われている今こそ、私たちは原点に立ち返って、さまざまな「労働」への尊厳を取り戻し、「労働」が果たす「社会的貢献」の意味を広く認めて、社会状況に応じながら「労働」を取り巻くさまざまな課題に対処し、「労働」の意義と価値をさらに高めなければなりません。

「友愛会創立を記念する会」は、運動を支えた先人たちに思いを馳せ、運動を発展させるための貴重な機会であります。

「友愛会」が創立から、109周年を迎えたことに心からお喜びを申し上げますとともに、「友愛会」に連なる諸組織・団体の活動が発展し、「友愛会」の理念が益々普及・発展されることをご祈念申し上げメッセージといたします。

事務所が移動しました

一般財団法人日本労働会館と労使関係研究協会は9階に移動。友愛労働歴史館は8階に残りました。



コロナ禍で宿泊事業の収益が大幅に悪化。8階の一般財団法人日本労働会館事務所を(株)友愛会館に売却し、資金調達いたしました。新事務所は(株)友愛会館から借りることとし、9階に移転しました。

宿泊事業「ホテル三田会館」は、(株)ローズホテルズ・インターナショナル（ローズホテル横浜、重慶飯店）と事業運営委託契約を締結し、再建をめざしています。

「ホテル三田会館」は営業を続けていますが、この4月には「ローズステイ東京芝公園」と名称を変え、リニューアルオープンする予定です。今後ともご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

<お知らせ>

新型コロナウイルス感染リスク低減のため、友愛労働歴史館は年末年始休暇とあわせ12月28日（火）から1月4日（火）まで休館します。



労使研メールアドレス